

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日
上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼上席執行役員 (氏名) 羽石 是之 (TEL) 028-665-1111
 管理本部長兼経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,501	17.9	386	—	432	—	222	—
27年3月期第1四半期	4,664	18.8	△35	—	18	—	△136	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 482百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △202百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	8.01	—
27年3月期第1四半期	△4.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	26,924	18,640	69.2	671.16
27年3月期	26,682	18,604	69.7	669.84

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 18,640百万円 27年3月期 18,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	16.00	20.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,760	6.1	1,030	26.4	980	7.9	630	△6.2	22.68
通期	23,300	1.2	1,980	△10.1	1,970	△15.1	1,260	△32.7	45.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	28,392,000株	27年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	617,626株	27年3月期	617,462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	27,774,447株	27年3月期1Q	27,779,102株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による物価上昇に伴う実質所得低下の影響により、個人消費の落ち込みが継続しているものの、政府主導の経済政策や日銀の金融緩和策の効果もあり、円安・株高が継続し、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

海外におきましては、米国では緩やかな回復が継続しましたが、欧州ではギリシャの債務問題等により、総じて弱含みで推移しました。また、中国の経済成長率は減速しており、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが市場とする食品業界は、消費の低迷による商品の低価格化や差別化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。

このような状況の下で当社グループは、市場ニーズに対応するため、ワールドワイドに市場動向を調査し、レオロジー（流動工学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

報告セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

〔食品加工機械製造販売事業〕

国内市場における食品成形機において「火星人 CN580型」、「KP302型パンナー」がコンビニベンダー向けに販売され、また、「2列火星人 WN155型」の調理食品業界への販売が好調で、売上が前年より増加しました。製パンライン等においては、品質アップやバラエティー化に対応した「菓子パンライン」、「サブレスンドライン」や「ペストリーライン」など大手ユーザーからの設備投資が継続しましたが、売上は前年より減少しました。

アメリカ市場では、食品成形機において「火星人 KN550型」の調理食品業界やエスニック市場への販売で伸び悩み、売上が前年より減少しました。製パンライン等においては、「ピザライン」、「ブレッドライン」の販売がありましたが、大型ラインの販売が伸び悩み、売上は前年より減少しました。

ヨーロッパ市場では、食品成形機において、調理食品を生産する「火星人 KN550型」の販売が好調で、売上が前年より増加しました。製パンライン等においては、南欧・中東にて大型の「ブレッドライン」、「クッキー生産ライン」の販売がありました。また、ドイツでは、ブレッド生産用の「ストレスフリーデバイダー VX212型」の販売が好調で売上が前年より増加しました。

アジア市場では、食品成形機において、台湾・香港で中華菓子を生産する「火星人 CN500型」、中華まんを生産する「火星人 KN550型」の販売が好調でした。一方で、中国でのミニパンを生産する「火星人 CN511型」の販売が伸び悩み、売上は前年並みとなりました。製パンライン等においては、台湾、フィリピンで高品質なパンの需要に対応した「VM製パンライン」の販売があり、売上が前年より増加しました。

修理その他は、国内と海外で売上が前年より増加しました。

〔食品製造販売事業〕

国内の(有)ホシノ天然酵母パン種においては、国内大手ユーザー向けのホシノ天然酵母パン種需要が増加したことにより、売上が前年より増加しました。アメリカのオレンジベーカーリーでは、バタークロワッサンの販売が好調であったことと、既存顧客へのパイ、デニッシュペストリーなどの販売量増加により売上が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,501百万円（対前年同四半期17.9%増）、営業利益は386百万円（前年同四半期は営業損失35百万円）、経常利益は432百万円（前年同四半期は経常利益18百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失136百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、11,706百万円となりました。これは、現金及び預金が475百万円減少、受取手形及び売掛金が132百万円減少、商品及び製品が260百万円増加、仕掛品が265百万円増加、繰延税金資産が94百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて183百万円増加し、15,218百万円となりました。これは、無形固定資産が84百万円増加、投資有価証券が93百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて242百万円増加し、26,924百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて311百万円増加し、5,887百万円となりました。これは、短期借入金が248百万円減少、未払費用が621百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて105百万円減少し、2,396百万円となりました。これは、長期借入金が137百万円減少、繰延税金負債が35百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて206百万円増加し、8,284百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し、18,640百万円となりました。これは、利益剰余金が228百万円減少、その他有価証券評価差額金が62百万円増加、為替換算調整勘定が183百万円増加、退職給付に係る調整累計額が14百万円増加したことなどによります。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.7%から69.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の売上高は概ね当初予想通りに推移しております。平成27年5月11日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,699,960	3,224,757
受取手形及び売掛金	3,397,725	3,264,929
商品及び製品	2,654,176	2,914,738
仕掛品	789,390	1,054,769
原材料及び貯蔵品	518,661	525,888
繰延税金資産	393,798	488,474
その他	223,328	268,719
貸倒引当金	△30,073	△35,900
流動資産合計	11,646,969	11,706,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,705,751	12,753,921
減価償却累計額	△8,173,724	△8,234,540
建物及び構築物(純額)	4,532,026	4,519,380
機械装置及び運搬具	7,415,719	7,525,049
減価償却累計額	△5,032,468	△5,189,782
機械装置及び運搬具(純額)	2,383,250	2,335,266
工具、器具及び備品	1,819,515	1,839,530
減価償却累計額	△1,636,519	△1,661,023
工具、器具及び備品(純額)	182,996	178,506
土地	5,223,558	5,236,003
リース資産	137,491	118,331
減価償却累計額	△91,977	△75,715
リース資産(純額)	45,514	42,615
建設仮勘定	91,857	150,791
有形固定資産合計	12,459,203	12,462,564
無形固定資産	172,625	256,870
投資その他の資産		
投資有価証券	913,843	1,007,568
退職給付に係る資産	1,391,116	1,393,915
その他	124,617	123,696
貸倒引当金	△25,867	△26,037
投資その他の資産合計	2,403,708	2,499,142
固定資産合計	15,035,537	15,218,577
資産合計	26,682,507	26,924,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	751,006	939,004
短期借入金	1,583,527	1,335,012
リース債務	20,257	19,263
未払費用	436,383	1,057,731
未払法人税等	226,532	212,981
前受金	965,963	1,016,091
賞与引当金	673,583	337,985
役員賞与引当金	53,200	11,775
その他	865,560	957,341
流動負債合計	5,576,015	5,887,188
固定負債		
長期借入金	1,193,738	1,055,927
リース債務	28,294	25,842
繰延税金負債	621,495	656,706
再評価に係る繰延税金負債	519,007	519,007
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	16,326	16,356
その他	49,818	49,714
固定負債合計	2,501,958	2,396,834
負債合計	8,077,973	8,284,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,750
利益剰余金	9,647,635	9,418,994
自己株式	△177,312	△177,395
株主資本合計	23,882,823	23,654,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194,510	256,978
土地再評価差額金	△5,345,797	△5,340,518
為替換算調整勘定	△46,658	136,427
退職給付に係る調整累計額	△80,343	△66,055
その他の包括利益累計額合計	△5,278,289	△5,013,167
純資産合計	18,604,533	18,640,931
負債純資産合計	26,682,507	26,924,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,664,793	5,501,550
売上原価	2,700,802	2,988,302
売上総利益	1,963,991	2,513,247
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	116,961	78,195
荷造運搬費	119,124	161,164
貸倒引当金繰入額	309	3,230
販売手数料	72,537	96,861
給料及び手当	633,400	652,822
賞与引当金繰入額	179,756	183,931
役員賞与引当金繰入額	9,450	11,775
退職給付費用	68,589	63,652
旅費及び交通費	93,965	117,325
減価償却費	57,003	62,772
研究開発費	178,080	195,748
その他	470,233	498,901
販売費及び一般管理費合計	1,999,412	2,126,382
営業利益又は営業損失(△)	△35,421	386,865
営業外収益		
受取利息	926	543
受取配当金	8,800	9,688
物品売却益	3,974	3,402
為替差益	4,399	6,232
補助金収入	16,784	—
電力販売収益	9,155	8,649
その他	26,882	33,422
営業外収益合計	70,923	61,937
営業外費用		
支払利息	9,874	8,930
電力販売費用	5,123	4,535
その他	2,174	3,098
営業外費用合計	17,172	16,564
経常利益	18,330	432,237
税金等調整前四半期純利益	18,330	432,237
法人税、住民税及び事業税	102,038	306,902
法人税等調整額	52,643	△97,069
法人税等合計	154,682	209,833
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,351	222,404
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136,351	222,404

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△136,351	222,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,237	62,467
為替換算調整勘定	△98,670	183,086
退職給付に係る調整額	26,809	14,288
その他の包括利益合計	△66,623	259,843
四半期包括利益	△202,975	482,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△202,975	482,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,773,347	399,465	380,600	311,736	2,865,149
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	670,932	3,897	459	—	675,290
計	2,444,280	403,363	381,060	311,736	3,540,439
セグメント利益又は損失(△)	105,891	33,851	△33,644	62,751	168,850

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	1,689,600	110,043	1,799,644	4,664,793
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	22	22	675,313
計	1,689,600	110,066	1,799,666	5,340,106
セグメント利益又は損失(△)	195,409	4,942	200,352	369,202

(注)各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、イタリア、イギリス、ロシア
- (3) アジア……………台湾、中国、韓国、オーストラリア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	369,202
セグメント間取引消去	△47,922
本社一般管理費(注)	△356,701
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△35,421

(注)本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「食品加工機械製造販売事業(日本)」、「食品加工機械製造販売事業(アジア)」のセグメント利益が、それぞれ6,345千円、669千円減少しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,884,753	402,578	696,878	348,811	3,333,022
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	912,964	14,821	—	—	927,786
計	2,797,718	417,399	696,878	348,811	4,260,808
セグメント利益	348,094	2,659	30,529	98,197	479,480

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	2,043,068	125,459	2,168,527	5,501,550
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	927,809
計	2,043,068	125,483	2,168,551	6,429,359
セグメント利益	328,541	26,803	355,344	834,824

(注)各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、トルコ、フランス、ロシア、ポーランド
- (3) アジア……………中国、香港、台湾、韓国

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	834,824
セグメント間取引消去	△63,460
本社一般管理費(注)	△384,499
四半期連結損益計算書の営業利益	386,865

(注)本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。